

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(4 月分)について

2025 年 4 月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位: 千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	10,976,859	8,976,162	122.3%
国内旅行	16,169,759	15,410,872	104.9%
訪日旅行	1,927,463	1,505,563	128.0%
合 計	29,074,081	25,892,597	112.3%

【概況】

4 月の営業概況は、総取扱額 290 億 7,408 万 1 千円、前年同月比 112.3%となりました。

海外旅行は、4 月の出国日本人数が 2019 年比 57.7%と前月から 16.1 ポイント低下しました。コロナ禍前の 7 割まで回復していた市場は、一進一退の状況が続き停滞しています。

こうした中、当社では短期滞在の入国査証免除措置が再開され、回復が顕著な中国や、需要が堅調なトルコ、エジプトについて募集告知を強化しました。また、テレビ通販の台湾商品や日本発着クルーズ商品により、全国各地発着の海外旅行の販売促進に取り組みました。その結果、トルコとエジプトは前年比および 2019 年同月比とも上回ったほか、アジアも好調に推移しました。特に全国各地の空港で航空便の運航本数が復便している中国では、北京、西安、上海のツアーが伸長しました。さらに、欧州や中南米では前年比 1.2 倍となり、長距離方面の回復基調が継続しています。

海外旅行の取扱高は、109 億 7,685 万 9 千円、前年同月比 122.3%となりました。

国内旅行は、物価高による個人消費が低調で推移する中、4月の日本人延べ宿泊者数は前年同月比98.9%と若干下回り、需要の停滞が見られました。

こうした中、当社では、4月に開幕した大阪・関西万博に入場する募集型企画旅行を販売したほか、沖縄の最上級クラスのリゾートホテルを利用するツアーのテレビ通販で販売し、全国各地から発着する商品の募集告知を強化しました。また、富山県で桜の開花時期に合わせた独自イベントを開催するなど、付加価値の高い企画旅行により需要喚起に取り組みました。その結果、大阪・関西万博の需要の高まりがみられた近畿をはじめ、各方面の集客が堅調に推移しました。

国内旅行の取扱高は、161億6,975万9千円、前年同月比104.9%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,376,345	2,598,808	91.4%
国内旅行	199,978	140,525	142.3%
訪日旅行	16,559	20,605	80.4%
合 計	2,592,883	2,759,939	93.9%

【概況】

4月の営業概況は、総取扱額25億9,288万3千円、前年同月比93.9%となりました。

海外旅行は、MICE案件が堅調に推移したものの、業務出張においては米国の関税政策による先行き不透明感から出張を控える傾向が見られ、前年同月比91.4%となりました。

一方、国内旅行においては、MICE案件および業務出張ともに順調で、前年同月比142.3%となりました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	13,025,321	11,216,234	116.1%
国内旅行	16,337,746	15,520,594	105.3%
訪日旅行	1,944,022	1,526,168	127.4%
合 計	31,307,089	28,262,996	110.8%

※2社間の取引を相殺したものです。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724